

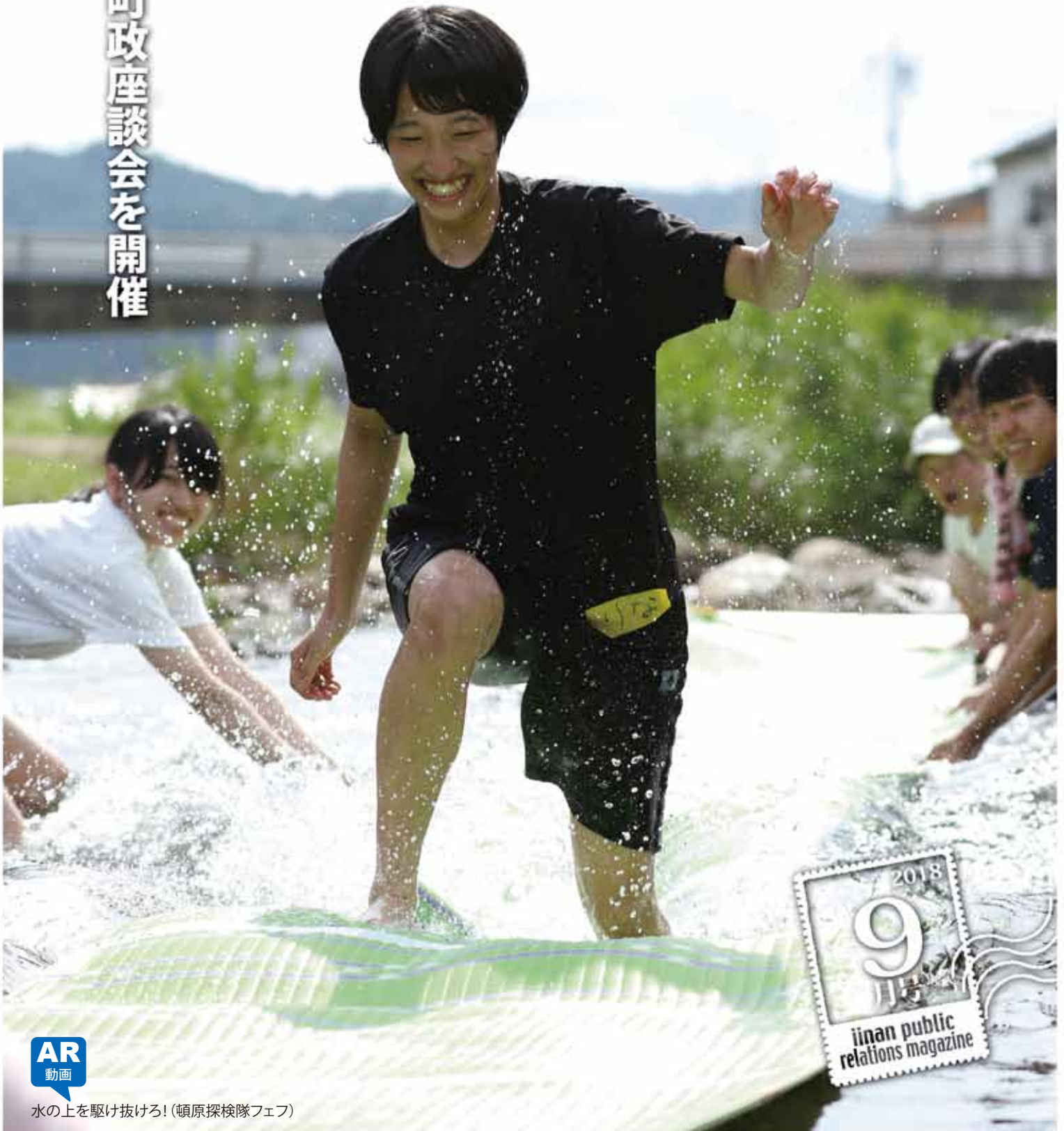
「笑顔あふれるまち 飯南町」

いーなん



飯南町広報 平成30年9月20日 No.165

町政座談会を開催



AR
動画

水の上を駆け抜ける! (頓原探検隊フェエ)



町政座談会 を開催

教育・子育て

Q 学校の教室にクーラーを設置すべきでは？

A 図書室や保健室、ランチルームなど設置している教室もある。学校や教育委員、保護者の意見を聞きながら検討したい。

Q 飯南高校の魅力化について、施策がマンネリ化していないか？

A 今年度から、教育魅力化推進員を配置し、高校だけではなく町全体や地域も含めた魅力化に取り組んでいる。まずは、町内の中学校の生徒に飯南高校に進学してもらうことが大切。ふると学習等で町の教育の魅力化を進める。

また、保育所の段階から一家庭で移り住む「教育移住」を進めるために、今年から、保育所の子どもたちが飯南町の自然に触れる「森の保育所」を始めた。

ホストファミリー制度は、保護者の安心感や、子どもたちにとっても田舎ならではの体験ができる良い機会になっている。魅力化は高校だけでなく、皆さんと知恵を絞りながらやっていかなければならないと考えている。

Q 全国学力調査で島根県はほとんどが平均点を下回っている。

地域づくり

Q どのように10年後のリーダーを育てていけばいいのか。町としてどのように進めるのか？

A 将来、笑顔で暮らせる地域をどうやって維持していくのか、地域でどんな人材が必要かなどのことを、集落実態調査の結果などを活用して、皆さんと一緒に考えたい。

Q 10年、20年後に、子どもたちが帰って来たいと思う町、地域にしたいと思いませんか？

A 地域、町全体で子どもたちを育て、魅力のある町にしたい。

くことが大切。町もしっかりと支援していく。

Q 志々支所に、集落支援員や小さな拠点づくり支援員を配置していただき、心強く思っている。今後もこの体制を維持してほしい。

私たちは、「わつしよい志々会」を組織して活動を続けている。今後も、積極的に地域活性化に取り組みたい。財政的な支援をお願いしたい。

A 集落実態調査の中で、それぞれの地域の将来をみんなで考え、町の総合戦略に取り入れていきたい。志々地区は地域づくりの先進地。引き続き支援していく。

7月から8月にかけて、町内5会場で座談会を開催し、178人の町民の皆さんの参加がありました。今年「町の人口動態」「人口減少対策と効果」「集落実態調査」「避難行動・土砂災害特別警戒区域」について説明しました。主なご意見と町の回答を紹介します。

(Q…質問、A…回答)

農林業

Q 森林環境譲与税の使いみちは？

A 現在、譲与税の対象となる山林と森林所有者を調査している。適正な管理をしていただくける団体に委ねるなど、価値のある山に再生していきたい。

行政運営

Q しっかりとした財政基盤をつくってほしい。

A 町債の繰上償還や維持管理する公共施設数を絞っていく必要がある。将来も安心して暮らせるように、健全な財政運営に努める。

Q 施設利用の無料はありがたいが、住民の負担も必要では？

A 公共施設の在り方について、検討を始めている。議員、町民の皆さんに意見をいただき、適正な公共施設の運営を考えたい。

Q 町の配布物が多すぎる。

A 情報を広報誌にまとめるように努力はしている。ただ、情報をテレビで放送しただけでは皆さんに伝わらないこともある。そこはご理解いただきたい。

防災

Q 避難時に使用する食料や毛布などは、どの施設にあるのか？

A 保健福祉センター、さつき会館、来島基幹集落センター、飯南町役場(赤色の4カ所に準備している)。

Q 避難行動要支援者の避難体制は？

A 要支援者それぞれの避難計画の策定を進めているところ。

Q 避難行動要支援者の名簿や情報を、町と自治区長・自治会長・組長で共有し連携できないか？

A 現在は、有事のときに共有することとしている。個人情報保護法に基づいて管理している。自治区や防災士とも協議したい。

Q 防災行政無線の屋外スピーカーを増設できないか？

A 昨年の防災訓練の際に、避難施設で聞こえない場所を把握している。検討させていただきたい。

Q 災害時に、行政としてのどのような方法で速やかに避難してもらうように考えているのか？

A 一人一人が、災害時にどう

行動すれば良いかを、常に考えておくことが大切。町としても、防災士の養成や防災訓練、研修会等で、理解を深めていただくような啓発を行っていく。

Q 4月の地震の際、学校の危機管理が不十分だと感じた。

A 地震による影響を町道のみ安全確認し、児童・生徒を登校させてしまった。その反省を生かし、現在は、施設や通学路、スクールバスの運行など、安全を確認し、保護者と連絡を取りながら、児童・生徒を登校させるようにしている。

危機管理体制を整備し、学校と連携をとって子どもたちの安全を確保する。

出会うの場

Q 町内の若い独身男女の、出会うの場をつくってほしい。

A 専任職員を配置し、町内外で情報交換をしながら進めている。「縁結びサポーター」も募集している。ぜひ縁結びに力を貸していただきたい。

公共施設

Q 来島拠点複合施設の、本年度の計画を教えてください。

A 測量設計が終わり次第、説明会を開催して、造成工事を出発したい。造成は年度内完了の予定。用地買収や登記などに時間を要し、当初の計画より若干遅れているが、詳細な日程は、自治区長などを通じて説明する。

Q 来島拠点複合施設の造成高さが2.5mから1mに変更されたというが、

A 大きな建物なので、周囲の環境を保つことなどから、造成高さは1mということ。検討委員会でも説明した。今後、住民の皆さんに不安のないように説明

公共交通

Q 赤名・頓原間の備北交通の運行がなくなった。利用者がいないから無くすのではなく、バスを残すことを考えてほしい。

A 利用客の減少や運営会社の運営体制の中でこのような運行形態となった。町営バスを備北交通と接続させ、三次方面まで利用できるようにしているが、利便性の向上を図りつつ、継

続的に運行できる町の公共交通にしていきたい。

Q デマンドバスの利用状況は？

A 昨年10月から今年3月まで月平均で赤来190人、頓原302人。今年4月から7月26日までが、月平均で赤来、頓原ともに239人となっている。季節、地域によって利用形態に違いもあると思うので、分析し、ニーズを吸い上げて今後活かしていきたい。

新たな門出を祝って 飯南町成人式

8/15
水

飯南町成人式を、赤名農村環境改善センターで開催しました。

式典では、香川隼人さんが新成人46人を代表して、「いろいろな試練が、私たちを待ち受けているかもしれないけれど、逃げることなく乗り越えていきたいと思っています。飯南町で育ったことを誇りに思い、それぞれの道で全力を尽くして、社会に貢献していくことを約束します」と誓いの言葉を述べました。

また、教え子の晴れ舞台に両中学校の恩師が駆けつけ、「この町で育んだ優しさを大切に」「大きな夢と大志を持って歩んでいってほしい」とエールを届けました。



新成人代表の香川隼人さん

節目の歳をふるさとで 30歳の成人式

8/14
火

今年度30歳(昭和63年度生まれ)を迎える人を対象に、道の駅頓原で「30歳の成人式」が開催されました。

今は飯南町を離れて生活している人も多い中、ふるさとのことを考えてもらう機会を提供したいという思いから3年前に始まり、今年で4回目。参加者は、「故郷を考えるよいきつけになった」「40歳、50歳になっても、みんなでもまた集まりたい」と話していました。

会場は、久しぶりに会った同級生との尽きることのない会話で、いつまでもにぎわっていました。



懐かしい品を眺めて昔話に花が咲きます



祝 平成30年 飯南町 30歳の成人式

同級生の絆はいつまでも。両中学校の恩師の先生も一緒に



ゲームで盛り上がります



祝 飯南町成人式

新成人の皆さん

若者達の運動の祭典 頓原探検隊フェフ

8/12
日

交流センターとんぼら周辺を会場に、一風変わった競技の運動会「頓原探検隊フェフ」が開催されました。

競技は、ラジオ体操や竹馬、フライパンやスリッパをフケット代わりにした卓球、三輪車レース、カラオケなど8種目。お昼には、流しそめん、はない茶屋の皆さんのカルフルカレーが振る舞われました。



「だるまさんが転んだ」はポーズ指定



三輪車で激走



デッドヒートを繰り広げる竹馬



意外にもラリーが続く

この運動会は、20〜40代の会社員や学生などを中心に組織された実行委員会が企画。地域の若者の地域づくりへの参画や交流を目的に開催されました。この冬にも同様のイベントを企画する予定とのこと。

地域の偉人をたたえる 野見宿禰顕彰之碑 除幕式

8/18
土



10月13日に町内で開催される、全国相撲甚句大会の記念行事の一環として建立

相撲の元祖「野見宿禰」をたたえる顕彰碑が飯南町上赤名に完成し、除幕式が執り行われました。

上赤名の呑谷はかつて「野見野」と呼ばれ、野見宿禰の支配地があったと伝えられています。

除幕式には、野見宿禰赤名相撲甚句会会員や出雲大社の関係者ら約60人が出席。相撲甚句会会長の赤穴憲一さん(下赤名)は、「相撲の元祖である野見宿禰がこの地にいたことは地域の誇り。後世に受け継いでいきたい」と話しました。

大学生と遊ぼう

夏のふるさと飯南町

8/21 火



そば打ち体験。うまくこねられるかな？

from I 代表の津和野勇貴さんは、「これからも私たちの育った飯南町に貢献していきたい。この想いを後輩たちにつないでいくことで、地域貢献の流れができていくと思う。後輩たちのサポートもしながら、私自身も楽しみたい」と話しました。



参加者の皆さん

交流センターとんぼらと冒険の森とんぼらを会場に、町内の小学生を対象としたイベント「夏のふるさと飯南町～大学生と遊ぼう～」が開催されました。
飯南高校卒業生の有志団体「from I」が主催するこのイベントは、昨年度に続き2回目。参加した小学生14人と大学生16人は、そば打ち体験や水鉄砲大会などで交流しました。

人材育成塾はじまる

8/10 金

8/11 土

赤名農村環境改善センターで『好きなこと×地域によりこと』で地域が変わる」をテーマに、まちづくり講演会を開催しました。

講師は、福岡県で空き家活用・ゲストハウス運営・起業塾などで、東京から200人以上の移住者を呼び寄せている、津屋崎フランチェLLP代表の山口覚さん(福岡県)。「まちづくりを深刻なものとして捉えない。やってみよう、好きなことから始めてみては」と参加者に伝えました。



講師の山口さん



和やかな時間が流れる講演会

翌11日には、第1回人材育成塾が開催され、ファシリテーション技術を学びました。

山口さんは、「まちづくりのように、答えが分からない新たな課題に向かう場合、『対話』の姿勢が大切。『対話』は、意見をみんなで共有し、一人では考え付かない本質に近づくようにする話し合い。『討論』は、自分の意見が正しいという立場で、言葉で相手を打ち負かすこと。同じ話し合いでも全く違う。ファシリテーターは、話し合いを進行し、その話し合いが『対話』になるように進行しないとけない」と伝えました。
この人材育成塾は、来年2月まで続く全6回の連続講座です。
※ファシリテーター…会議などで発言を促したり、話の流れを整理したりして、話し合いを円滑に進行する人。

鳥根県知事へ要望活動

8月17日に、鳥根県知事に対して要望活動を行いました。重点要望項目は次のとおりです。

- ① 飯南病院の医療従事者の確保
安心して暮らせる医療体制を維持するための継続した医師派遣や、看護師、薬剤師など医療従事者の確保
- ② 小さな拠点形成への支援
協働のまちづくりの拠点として必要な複合的拠点整備や、デマンド型乗合タクシー運行、光ケーブル整備に対する財政支援
- ③ 農業振興に必要な支援
農作物と生産技術の生産現場への普及や、各機関と連携した生産性向上につながる営農技術指導の充実。新たな森林経営管理制度の推進や、意欲と能力のある林業経営体の育成に対する支援
- ④ 町内企業・事業所を守るための支援
民間事業者が主体的に取り組む「雇用と住宅の確保」や創業支援、事業規模拡大などに対して、町が支援する場合の有利な財源の確保



溝口知事に町の政策課題を説明

⑤ 広域道路網整備と「重点道の駅」の取り組みへの支援

瑞穂・高野インターアクセスと新銀山街道の未整備区間の整備。国道54号線沿線の重点道の駅(赤米高原・頓原掛合の里・ゆめランド布野)が行う、相互に連携した国道54号線沿線の活性化のための取り組みへの支援

要望に対して溝口知事からは、それぞれの項目に対して財政支援や関係組織との連携支援、国への働きかけなど前向きな回答がありました。

■問合せ
企画財政課 電話76・3941

飯南高校吹奏楽部 中国大会で金賞を受賞

8月11日に開催された、全日本吹奏楽コンクール鳥根県大会で「金賞・最優秀賞」を受賞した飯南高校吹奏楽部。

この結果、8月26日に岡山県倉敷市で開催された「全日本吹奏楽コンクール中国大会」に県代表として出場。2年連続となる「金賞」を受賞しました。
本番は1曲。10分にも満たないわずか数分間のために、仲間と積み上げてきた時間の成果が大きな輝きとなりました。



中国大会では2年連続2回目の金賞

通学路のカラー舗装

町内連担地の道幅は狭いため、車両と歩行者の通行箇所を明確にし、児童生徒などの安全に配慮した歩きやすい道路にするため、路側帯の上に「カラー舗装(色をついた舗装)」を施しています。

路側帯は、カラー舗装の有無にかかわらず車両の通行が禁止されていますが、道路沿いの家・店舗への出

入りや一時的な駐車、離合のための停車等はすることが可能です。
歩行者と車両の安全な通行空間確保のため、ご理解とご協力をお願いいたします。

現在、頓原小学校区(頓原連担地)、来島小学校区(三日市連担地)は整備済みで、今後、赤名小学校区(赤名連担地)、志々小学校区(八神連担地)でも整備を進める予定です。

■問合せ
建設課 電話76・3942

人事行政の運営等の状況を公表します

地方公務員法、飯南町人事行政の運営等の状況の公表に関する条例に基づき、平成29年度の人事行政

の運営などの状況をお知らせします。なお、給与・職員数などの状況は、広報3月号で公表しています。

職員の勤務時間その他の勤務条件の状況

1週間の正規の勤務時間	38時間45分
1日の正規の勤務時間	7時間45分
開始時刻	8:30
終了時刻	17:15
休憩時間	12:00～13:00

職員の任免に関する状況

	平成29年度採用	平成29年度退職
一般行政職	5人	2人
医療技術職	0人	0人
看護・保健職	4人	2人
福祉職	0人	0人
技能労務職	0人	2人
合計	9人	6人

職員の福祉及び利益の保護の状況 (1)安全衛生管理体制

総括安全衛生管理者	安全衛生管理者	安全衛生推進者	産業医
1人	2人	5人	1人

職員の福祉及び利益の保護の状況 (2)職員の健康診断の状況

	対象者数	受診者数
定期健康診断	98人	98人
人間ドック	52人	52人

職員のサービスの状況 年次有給休暇の取得状況(平成29年1月1日～12月31日)

総付与日数	総取得日数	全対象職員数	平均取得日数	消化率
5,241日	994日	147人	6.7日	19.0%

職員の研修の状況

区分	受講者数
自治研修所派遣研修	13人
市町村総合事務組合研修	0人

職員の分限及び懲戒処分の状況

分限処分者	懲戒処分者
0人	0人



会場いっぱい集まりました

6時半には、大きな「おはようございます」のあいさつで体操が始まり、ピアノの生伴奏と指導者の掛け声にあわせて、子どもから高齢者までが元気に体を動かしました。ラジオ体操は、健康な人なら、への負担も少なく、誰でも手軽にできる運動です。わずか3分間の運動で体にある約68の筋肉のうち、なんと約48の筋肉が動きます。皆さんも、朝の習慣にラジオ体操を取り入れてみませんか？



お隣の頓原小学校体育館でも元気に

510人が一斉に 夏期巡回ラジオ体操

8/16 木

夏休み朝6時半、ラジオで公開放送されるおなじみの「夏期巡回ラジオ体操・みんなの体操」が、頓原小・中学校体育館で開催されました。朝5時半過ぎ、雨で屋内での開催となる中、続々と集まる参加者はスタンプも含め510人。

まちを元気に！ 地域おこし協力隊

町内のさまざまな地域課題に取り組み「地域おこし協力隊」。今月は、加田の湯を担当する原田朋子隊員の活動報告です。

今年で隊員2年目、加田の湯の地域おこし協力隊、原田朋子です。加田の湯の活性化と集客を目指し、イベント企画やお客さまの最高の癒しを求め、日々取り組んでいます。毎月26日(お風呂の日)は、食べ放題バイキングの日。季節の旬の野菜を使って、25種類以上の料理を提供しています。お一人千円、80歳以上800円。楽しみに来てくださるお客さまも増えています。



ヘアブロー体験

プチイベントとして、ヘアブローとハンドマッサージ体験も行いました。子どもから高齢の方まで、幅広い世代の方に喜んでいただくことができました。



毎月26日(お風呂の日)の食べ放題バイキング

みなさん、食堂から見える庭の石釜をご存知でしょうか？それは立派な「ピザ釜」。8月には小学校の親子活動で利用があり、子どもたちは、ピザ生地にもトッピングしたりピザを釜に入れたりして、楽しくおいしく食べていました。興味のある方は、ぜひ、加田の湯の原田までご連絡ください。これからも加田の湯をよろしくお祈りします。



ピザ釜での親子活動

宝くじは広く社会に役立てられています 和田公民館が 和備品を整備

地域活動の活性化のため、左記の宝くじ社会貢献広報事業の助成を受け、和田公民館が、エアコンやストーブ、会議机、会議椅子などの備品を、今年度、整備しました。

この事業は、(一財)自治総合センターが、地域のコミュニティ活動の充実、強化及び地域社会の健全な発展



整備した石油ストーブ

と住民福祉の向上のため、宝くじの受託事業収入を活用して行う事業です。

平成31年度 コミュニティ助成事業募集

募集事業

- ① 一般コミュニティ助成事業 (コミュニティ活動に必要な備品等)
- ② コミュニティセンター助成事業 (集会施設の建設や大規模修繕等)
- ③ 地域防災組織育成助成事業 (地域の防災活動に必要な設備等)

募集締切 平成30年10月12日(金)
※(一財)自治総合センターが宝くじの受託事業収入を財源として行う事業です。
※申請事業の助成の可否は、(一財)自治総合センターが決定します。必ず採択されるものではありません。

- 問合せ・申請
- ① ②の事業 地域振興課 電話76・28664
- ③の事業 総務課 電話76・2211





●飯南病院 電話72・0221 ●来島診療所 電話76・2309 ●保健福祉センター 電話72・1770

連日のように続いた猛暑の夏も終わり、過ごしやすい秋になりました。「食欲の秋」という方もいらつしやるでしょうが、「スポーツの秋」ということで、私の趣味でもあるサイクリングについてお話をさせていただきます。

飯南 便り

サイクリングのススメ



飯南病院 副院長 永澤篤司

グは膝や腰への負担が少なく、体重が重い人でも比較的軽い負荷で長時間続けやすい運動です。肝臓の脂肪は食事療法だけでなく落とせますが、筋肉に付いた脂肪は運動をしないと減らせません。運動で肝臓と筋肉の脂肪を減らすことで、より一層インスリン抵抗性が減り糖尿病などの予防改善にもつながります。

保健福祉 便り

～事業所健診におじゃましています～ まずは自分のからだに関心を

働き盛りの世代の皆さんに、ご自身の健康に関心を持ってもらうため、事業所健診の会場でボードアンケートを行っています。



改めて塩分量を確認してビックリ



約450名の方にご協力いただきました(8月16日現在)たパンフレットをお渡ししました。

また、栄養指導のブースを設置して、インスタント食品や加工食品に含まれる塩分量を展示。栄養士が、脳卒中予防のひとつである「減塩」についてお話をしています。脳卒中は、脳の血管が詰ったり、破れたりする病気。塩分やアルコールの取りすぎ、タバコ、過労、睡眠、運動不足など不健康な生活習慣が影響しているといわれています。受診者の中には、「こんなに塩分が含まれているんですか!？」と驚きの声もありました。

健康は、自分自身の体・健康状態に関心を持つところから始まります。まずは、自分の生活習慣を振り返り、脳卒中をはじめ、いろいろな病気を予防しましょう。

こんにちは
中山間地域研究
センターです。

鳥獣被害広域 防護柵の状態は・・・



潜り込みの対策

雑草に覆われると、補修が必要な場所を見つけづらく、またイノシシが侵入しやすくなります。柵が見えるように草を刈りましょう。



雑草が繁茂した防護柵

●中山間地域研究センター
電話 0854・76・2025
<http://www.pref.shimane.lg.jp/chusankan/>



赤名地区集落支援員の
金藤正道です。

「寄ろうでえ～!赤名川」オープン

8月23日(木)に、赤名地区住民の方が気軽に立ち寄り、コーヒーやお茶を楽しみながら交流を深め、趣味やイベントを楽しむ交流の場「寄ろうでえ～!赤名川」を、赤名中市の福島邸で開催しました。

第1回のメインイベントは、ハーモニカ名人の三島幸治さん(佐見)、アフリカ民族楽器/バラフォン奏者の清水玲湖さん(下赤名)の演奏会。両楽器の素晴らしい演奏に、住民の方は、うっとりされ、演奏会後は、お茶やコーヒーを飲みながら、住民どうし会話を弾ませていました。

この「寄ろうでえ～!赤名川」は、「赤名地域まちづくり連絡会」が企画。住民の皆さんのボランティアにより運営されています。「寄ろうでえ～!赤名川」を始めるに当たり、企画、運営等のお手伝いをさせていただきました。

今後、月1回開催予定。参加費200円で、コーヒー・お茶は飲み放題です。ぜひご来店ください。お待ちしております。皆さんで、赤名を盛り上げていきましょう!

「寄ろうでえ～!赤名川」

- 毎月第3木曜日10時～12時
- 参加費200円
- 運営ボランティア募集中!
- 問合せ
赤名公民館内(集落支援員 金藤)
電話76-3100



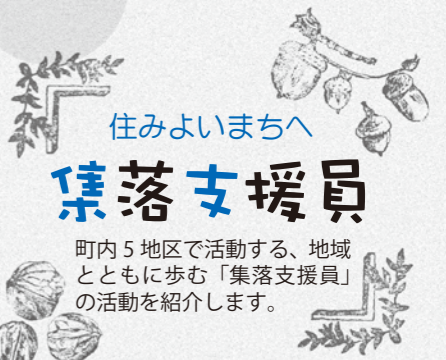
約40人が集まりました



三島幸治さん



清水玲湖さん



住みよいまちへ 集落支援員

町内5地区で活動する、地域とともに歩む「集落支援員」の活動を紹介します。

個人で設置した浄化槽をお使いの皆さまへ
**浄化槽の維持管理は
管理者の義務です**

浄化槽の維持管理(保守点検・清掃・法定検査)は、管理者の義務です。

浄化槽は、微生物の働きで家庭などからの汚水をきれいにしています。その機能を十分に発揮させるには、定期的な保守点検や清掃を適切に行うほか、毎年1回の法定検査を受検することが必要です。

浄化槽を正しく使用し、きれいな川をみんなで守りましょう。

※町で設置した浄化槽は、町が管理者として維持管理を行っています。

■問合せ

島根県廃棄物対策課
電話0852・22・5261



三次高等技術専門校
平成31年4月入校生募集

対象 平成30年度の高等学校卒業生(見込み含む)

募集訓練科

- ・自動車整備科(期間2年)
 - ・溶接加工科(期間1年)
 - ・建築科(期間1年)
 - ・介護サービス科(期間6ヵ月)
- 受付期間 9月25日(火)～10月31日(水)

就職フェアしまね

対象 平成31年3月に大学(大学院含む)・短期大学・高等専門学校・専修学校等を卒業予定の人、大学卒業後3年以内の人

日時 10月15日(月)12時30分～17時30分
会場 松江テルサ
(松江市朝日町478・18)

■問合せ

ジヨブカフェしまね
(公益財団法人ふるさと島根定住財団)
電話0120・67・4510

内容 企業プレゼン、合同就職面接会など
参加企業 50社(9月初旬頃「ジヨブカフェしまね」のホームページに掲載)

<http://www.gogo-jobcafe-shimane.jp/>

※応募書類、選考日・選考内容等、その他詳細は、直接学校へ問い合わせてください。

※見学可能(要事前連絡)

■問合せ

広島県立三次高等技術専門校
電話0824・62・3439

行政相談

日時 10月10日(水)9時～12時

会場 飯南町役場(赤色)

行政相談員

中稔さん、高橋浩文さん

行政相談は、国や役所の仕事に対する意見や要望を受け付け、その解決を促進し、行政運営の改善に役立つための制度です。

総務省では、本年は10月15日(月)～21日(日)を行政相談週間と定めています。

■問合せ

総務省島根行政監視行政相談センター行政監視行政相談課
電話0852・21・3630

子どもの未来を語ることは
町の未来を語ることに
飯南町子ども未来会議

日時 10月11日(木)18時30分～20時30分

会場 頓原農村環境改善センター
みせん

対象 どなたでも(託児あり)

内容 昨年は、地域住民・保護者・学校関係者・子どもが約300人集まり、「飯南町で育てたい子ども像」などについて意見交換を行いました。

本年度は、「子どもたちを町ぐるみで育てるために、地域・家庭・学校・私たちはこれからどう関わっていくのか」を考えます。



昨年の未来会議の様子

町教育委員会では、住民・保護者・学校関係者・高校生などが集まって意見交換できる場を増やし、住みよい地域づくり、定住拡大を進めていきます。多くの皆さんの来場をお待ちしています。

飯南町の未来を切り拓くのはあなたです。

■問合せ 教育委員会
電話76・3944

**ハロウィンジャンボ宝くじ
発売間近!**

- ハロウィンジャンボ宝くじ5億円(1等3億円、前後賞各1億円)
 - ハロウィンジャンボミニ5千万円(1等3千万円、前後賞各1千万円)
- 発売期間
10月1日(月)～23日(火)

この宝くじの収益金は、市町村の明るいまちづくりや環境対策、高齢化対策など、地域住民の福祉向上のために使われます。お買い求めは、お近くの販売所です。

雲南簡易裁判所

無料法律相談所

日時

10月18日(木)10時～12時、13時～15時(要事前予約)

会場 雲南簡易裁判所

(雲南市木次町木次980)

相談内容

土地・建物・金銭の貸借・交通事故・夫婦親子・相続・少年非行など

■問合せ・予約

雲南簡易裁判所
電話0854・42・0275

合同労働相談会

日時 10月21日(日)10時～15時

会場 くにびきメッセ

内容 パワハラ・セクハラ・突然解雇・賃金不払など、労働者と事業主間のトラブル

※労働者、事業主いずれの相談も可。事前予約者優先(当日会場での受付も可)

費用 無料

■問合せ

島根県労働委員会事務局
電話0852・22・5450

求人情報

Uターン希望者・求職者・事業者のみならずへ
直近1カ月に登録された、フルタイム求人の一部を紹介します。パートタイムの求人情報や詳しい内容を知りたい方、このほかの情報もご覧になりたい方は、お問い合わせください。求人情報の閲覧のみも可能です。※市外局番は「0854」です。



飯南町無料職業紹介所 (役場地域振興課内) 電話76・2864

飯南町立 飯南病院 72・0221	
看護業務	正社員以外 3人
看護助手	正社員以外 1人
薬剤師	正社員 1人
(福)友愛会 72・0214	
施設利用者の介護	正社員 3人
看護業務	正社員 1人
給食調理	正社員 1人
飯南町役場地域振興課 76・2864	
ふるさと納税事務補助	雇用期間は30年11月～12月 正社員以外 1人
飯南町役場住民課 76・2213	
税務業務の事務補助	雇用期間は31年1月～3月 正社員以外 1人
(有)頓原ランドリー 72・0036	
衣類クリーニングの仕上げ・受付	正社員以外 1人
エコープ エルシー店 72・1221	
商品づくりまたはレジ等	正社員以外 3人
エコープ きじま店 76・2319	
青果、鮮魚、食料品等の商品づくり、品出し、レジ等	正社員以外 3人



飯南町HP QRコード

AR動画の視聴方法

ARマーク

広報いーなんでは、AR(拡張現実)動画を導入しています。詳しい視聴方法は、飯南町ホームページでご紹介しています。(今月号は表紙に対応写真があります)



森のたより

8月18日(土)に、JAしまね赤来支店の皆さんが「町民向け森林セラピー」に参加されました。支店長の渡部靖弘さんに、森林セラピーに参加した感想をお聞きしました。



出発前に血圧測定

職員の福利厚生で森林セラピーを体験
中山間地域で生活している私にとって、休日は農業をしているため常に森林の中にいます。しかし、普段のことは何も考えず、セラピーガイドさんと一緒に森の中を散策して植物を観察したり、



森の中で横になる。意外とない経験。

小田川のそうそうと流れる水の音、ミンミンと鳴くセミの声を、目を閉じて耳をすましてゆっくりと聞いた、爽やかな風を感じながらハンモックに揺られているときは、時間が止まっているような感じがしました。
今回は、JAしまね赤来支店全職員13名で、森林セラピーを体験しました。

職員の中には、体調が良くなった人も数人いて、「参加して良かった」とのコメントがありました。職場の雰囲気も森林セラピー効果が続いているような気がしています。今回は、夏の体験でしたが、次回は秋の紅葉を見にいきたいと思います。
島根県で唯一の森林セラピーを、職場やグループでぜひ体験いただき飯南町の魅力をたくさんの人に感じていただきたいと思います。

相撲の元祖
野見宿禰ゆかりの地



【島根県立古代出雲歴史博物館蔵】

今年10月13日、赤名農村環境改善センターで、「第11回全国相撲甚句大会」が開催されます。「相撲の起源」「野見宿禰」「語り継がれるゆかりの地」を、全3回にわたって紹介します。

■問合せ
国道54号活性化アクションプラン推進協議会(い〜にゃん人つなぎ協議会)
電話76・2864(地域振興課)

〈第3回〉語り継がれるゆかりの地
呑谷の「野見野」のほかにも、赤名地区には野見宿禰ゆかりの地が存在します。上赤名にある「すくも塚古墳」は、野見宿禰のお墓と言われている。



すくも塚古墳の案内看板

難波和夫さん(CATVのインタビュー映像から)

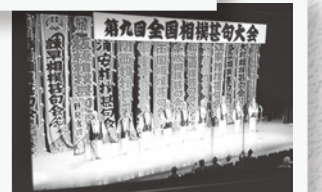
野見宿禰の語り部、難波和夫さんは「野見宿禰は、広島県に通じる、かつての旧道沿いのこの小さな山に埋葬されたと聞いた」と語ります。難波さんが、10歳くらいの頃、おじいさん(文久3年生まれ)から

野見宿禰やそのお墓について教えてもらったとのこと。
また、地元の偉人をたたえようと野見宿禰顕彰の碑が地元「野見野」の地に建立され、8月18日に除幕式が行われました。

来月の10月13日(土)には、赤名農村環境改善センターで、「第11回全国相撲甚句大会」が開催されます。本町からは、野見宿禰赤名相撲甚句会が出場されます。



野見宿禰顕彰の碑



第11回全国相撲甚句大会

俳句

琴峯華俳句会 八月例会作品抄

災害をまぬがれし夜の虫の声 秋に入り土囊残るやふることに 安部 豊枝 土池 博子
秋立つや復旧工事遅々として 暑き日々静止画像の如く過ぎ 石田シヅカ 松平富美子
友と来て吾亦紅の野に憩いをり 花火玉ふるふる震えつつ天へ 垣内 良野 八嶋 敏江
秋立ちぬ昔中合せの鳥かな 補助輪をはずして彼方夏の雲 佐々木康子 山崎智恵美
畦道に人待ち顔の吾亦紅 馬道の秣の中に鳴き始む 田部智津子 八嶋 昭男
この暑さ忘れてゲームに夢中かな 森 征子

短歌

赤名短歌会 中村三四二前会長追悼作品

芍薬の大輪の白咲きさがり崩れむとする刻の寂けさ 岩佐 恒子
平和への祈りは永遠に三四二様の手植糸の青桐今日は滂るも 石田フクエ
平和への米朝会談案(しつ)先陣のうたびとおおきりの彼方に 澤田 勝登
梅雨晴れの朝かがやく樹あり君が植えにシアオキリ二世 澤田久美子
ぼつかりと天穴のあいたわが胸に梅雨晴れの風ただ吹き抜ける 門所 詠子
「ふし」のサーモンピンクの色優し次代への願い詠ひし人よ 星野 敦子
三四二氏の賜りし本悲しみをこらえて読めり遺言として 鳥田 勝信
二輪草白寿まで咲く約束も空しく一輪何故散り急ぐ 本間 麗子
こんなにはありがたうねとめんねの宝の言葉吾は恵まれし 清原 豊明
青桐は大いなる歩み伝えむと両手ひろげて大空あおぐ 吉川 暎子
(左は、辞世の句)
夫婦して九十八歳迎へたり体保ちて生きて行くらん 中村三四二

すこやか

8月届出分

新生児 福田 美結(みゆ) 裕 樹(ゆ) 樹(下赤名)

やすら

8月届出分

お名前 三上 光江(みつえ) 親族 地区
東代 政枝(まさえ) 晴 俊(しゅん) 二(に) 野 萱
奥野 久子(ひさこ) 泰 久(ひさ) 小 田
景山 良久(りよく) 朋 幸(ゆき) 川 西
諏訪部 正人(まさひと) 吉 正(まさ) 町 区
清原 茂夫(しげお) 豊 明(あきら) 下赤名

今日の人権標語

「家族でつくる人権標語」優秀作品から

あなたは私の宝物
あの子も誰かの宝物

赤名小3年 加藤 紫摩(むら)さん
家族名 加藤 郁海(いくみ)さん

標語に込められた思いを町民みんなで意識し、差別や偏見のない明るいまちづくりをめざしましょう。

今日の表紙

8月12日に開催された頓原探検隊フェフでのコマ。競技は最終種目の「100m走」。しかし、内容は全く異なり、水に浮かべた15mのゴザの上を沈まないように走り抜けるもの。見事完走！
子どもは頃よく遊んだ川。久しぶりに入っても昔と変わらず気持ちよかったです。



まちのスケジュール

2018年 平成30年 10月分
 ■教育 + 健康・保健 *文化・体育 ◆その他



日	月	火	水	木	金	土
9/30	1	2	3	4	5	6
7	8 体育の日	9	10	11	12	13
14	15	16	17	18	19	20
21 秋分の日	22	23	24	25	26	27
28	29	30	31	11/1	11/2	11/3

■雲南市・飯南町中学校
 新人体育大会(～4日)
 + ほっと。Café
 (ベビーマッサージ)
 (保健福祉センター)
 10:00～11:30

■赤名小授業公開日
 + 乳児健診・育児相談
 (保健福祉センター)

* ボルダリング(定期)
 (交流センターとんぼら)
 18:00～20:00

■桜ヶ台保育所運動会
 + い～にゃん健康まつり
 (保健福祉センター)

■赤来中授業公開日

+ ほっと。Café
 (来島保健センター)
 10:00～11:30
 ◆ 行政相談
 (飯南町役場)

■来島小授業公開日
 ■飯南町子ども未来会議
 (みせん) 18:30～

+ オレンジカフェ
 (保健福祉センター)
 14:00～16:00

* 全国相撲甚句大会
 (赤名農村環境改善センター)

◆ コスモス祭
 (東三瓶フラワーパレード)

■雲南保育協議会
 公開保育
 (赤名保育所)
 ■3校合同R54清掃
 + ほっと。Café
 (来島保健センター)
 10:00～11:30

■頼原小授業公開日

* 頼原公民館まつり
 (交流センターとんぼら)

+ ほっと。Café
 (離乳食)
 (来島保健センター)
 10:00～12:30

■県教育研究大会飯石大会
 (町内各小中学校)
 + オレンジカフェ
 (保健福祉センター)
 14:00～16:00
 ◆ はびご無料結婚相談会
 (飯南町役場)
 18:30～予約制

■数リンピック
 (来島小)
 * 来島地区文化祭
 (来島基幹集落センター)

+ ほっと。Café
 (来島保健センター)
 10:00～11:30

し尿汲取り日		資源物		金属類・粗大物		ガラス類	
汲取り地区	汲取り日	収集地域	収集日	収集地区	収集日	収集日	収集日
頼原 志々	5日(金) 9日(火)	頼原	17日(水)	頼原連担地	22日(月)	9日(火)	
赤名	2日(火) 4日(木) 19日(金) 22日(月)	赤来	24日(水)	八神連担地	24日(水)	11日(木)	
来島	12日(金)			頼原・八神連担地以外	23日(火)	10日(水)	
				赤名連担地	15日(月)	1日(月)	
				来島連担地	17日(水)	3日(水)	
				赤名・来島連担地以外	16日(火)	2日(火)	

[頼原地域] 電話72・1401 [赤来地域] 電話76・2441

[いいしクリーンセンター] 電話72・9217

※決められた日時をお守りください。

●町の人口4,918人(前月比-11人) ●男性2,299人 ●女性2,619人 ●世帯数2,046戸 H30.9.1 現在

広報いーなん 9月号

小さな田舎からの「生命地域」宣言
 笑顔あふれるまち 飯南町



スマホで広報紙を
 読みませんか？